

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 11月 18日（月）
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	柿澤、林、秋山、市来、服部、室井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	回答なし	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	7	7	0	0	0	14

前回の改善計画	新規ご利用者の情報共有は、アセスメントシート（基本情報）とケアプラン（介護計画）を確認し、ご利用者のサービス利用目的や今後の目標について確認する。書面の閲覧だけでなく、ミーティングを通してスタッフ間で共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	ミーティングや書面を通して新規利用者の情報共有ができています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	10	4	0	0	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	6	8	0	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	7	7	0	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	5	9	0	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・毎朝のミーティング時に必ず申し送りノートを確認し、出勤者で共有している。スタッフ同士で確認しあっている。 ・新規ご利用者の情報（アセスメントシート）を申し送りノートに綴じていることで、各自情報収集がスムーズに行えている。スタッフ会議で情報共有が来ている。 ・さくら草に慣れていないご利用者には回答しやすい質問をし話題を広げ言葉を多く発することが出来るよう心掛けている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ご家族に会う機会も少ない、お話をする時間も少ないため、関係作りが不十分。 ・新しく入ってきた情報共有が不十分。情報発信が一方通行、申し送りノートに記載されていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
実際に対応して変わったことや利用者個人への対応等、介護以外の対応についての事項はミーティング、連絡ノートで共有する。早番・遅番のスタッフが送迎などの理由でミーティングに参加する時間が異なり、連絡が不十分になることがあるため、申し送りノートには対応方法の内容だけでなく、なぜその対応が必要なのかの根拠を記載して理解を深められるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 11月 18日 (月)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	柿澤、林、秋山、市来、服部、室井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	回答なし	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	4	8	2	0	0	14

前回の改善計画	ご利用者の情報共有は、アセスメントシート（基本情報）と介護計画（ケアプラン）を確認し、ご利用者のサービス利用目的や今後の目標について確認する。介護計画の期間に併せて定期的な見直しと、支援内容に変化があった場合は随時ミーティングやカンファレンスを通して見直しを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	スタッフ会議などで行うカンファレンスを通して情報共有を行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	3	8	3	0	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	3	9	2	0	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	3	6	5	0	14
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	4	6	4	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ケアプランの更新前の月のスタッフ会議にて目標に対する評価や現状の課題を抽出し更新月にご本人やご家族とカンファレンスを実施。カンファレンス後に新たなプランを作成し翌月のスタッフ会議で新たな目標や取り組みを周知している。 ・申し送りや会議内で実践した内容を共有し、次の対応に行かせていると思う。 ・ご利用者について、他のスタッフ・先輩に伺った「～したい」ことについて、レクリエーションや会話する機会に試している。 ・個人ファイルがあり、利用開始時に話し合い共有できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ご利用者の「～したい」ことや目標がスタッフ間で共通認識できていない。 ・ご利用者ご本人の目標や「したいこと」が、スタッフ間で共通認識できていない。傾聴、寄り添っているものご本人が満足しているかは考えてしまう。 ・ご利用者に対して今の目標が何であるか？現状維持であるか考えてしまう。 ・目標のゴールまで把握できていない。 ・ご利用者の状態変化に併せたカンファレンスやミーティング。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・定期的なカンファレンスで、ケアマネが作成したケアプランを介護職員も見る機会を作り、ケアプランに載っている、ご利用者一人一人の目標を共有できるようにする。 ・ケアマネが作成しているケアプランと別に作成している小規模多機能個別計画書を、ケース担当の介護職員が作成することで、ご利用者の目標を共有できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 11月 18日 (月)
3. 日常生活の支援	メンバー	柿澤、林、秋山、市来、服部、室井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3	10	1	0	14

前回の改善計画	介護計画の期間に併せてアセスメント情報（ご利用者の基本情報）定期的な見直しと、新たな情報や支援内容に変化があった場合は、随時ミーティングやカンファレンスを通して見直しを行う。見直しを行った情報はアセスメントシートに記載をして職員間で情報共有を図る。 前回の改善計画に対する取組み結果	ご利用者の変化に対する対応は、その都度検討し、情報共有することで対応できている。
---------	---	---

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	6	7	1	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	8	6	0	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	2	10	2	0	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	10	3	2	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	9	5	0	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・介護職員、看護職員含め、ミーティングや体調変化時にその都度対応を共有している。 ・送迎時等、ご家族とのコミュニケーションをとるなかで、情報収集が来ている。 ・本人の状況や体調変化など、その都度共有し必要な対応はできている。 ・見直しを行った情報は会議内で共有できている。 ・自らの気づきにより、ご利用者の変化を言語化するようにしている。 ・ご本人の体調に合わせて調理して提供している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・「以前の暮らし方」を10個以上の把握はできていない（情報収集の不足） ・ご利用者の過去の生活環境や自分の気づいていない部分の変化については把握しきれていない。 ・その場限りの対応や情報の共有で終わってしまう傾向があり、継続していない（チームで共有する仕組みがなく、文面や口頭といった一方通行の発信となっている。） ・ミーティングやカンファレンスとしての時間はなく、その場での情報共有になっている。 ・新しい情報もその時ではなくしばらくたった後にや更新時に記載してしまうことが多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
カンファレンス時に、介護職員から細かなアセスメント情報（ご利用者の様子や介護、生活に関する気が付いた情報）を出してもらい、ケアプランに反映した上で、更新したプランは再度回覧する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 11月 18日 (月)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	柿澤、林、秋山、市来、三坂、服部、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0	7	4	3	14

前回の改善計画	地域での活動および地域資源となるサービスや活動などに、介護スタッフが自ら参加し、体験して理解する機会を作る。まずは地域ケア会議、ミニサロン、オレンジカフェなどの高齢者を対象とした地域資源に参加することで、地域の関係者やボランティア、民生委員さんと顔が見える関係を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	目標に挙げている地域活動には、管理者ケアマネが参加する機会があったが、介護職員が参加する機会を作れなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	回答なし	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	2	9	2	1	0	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	3	10	0	1	0	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	2	5	6	1	0	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	6	5	3	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご利用者から地域の事を教えてもらったり、お話を聞くことで把握できている。 ・事業所利用日以外のご本人のご様子については、訪問、連絡帳での報告や送迎時にご家族との会話から知ることが出来ている。 ・これまでの生活スタイルや自宅での本人の様子は、アセスメントシート等で理解することが出来ている。 ・本人とご家族、地域との関係は出来てと思う。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域資源や民生委員さんとの交流。 ・地域の民生委員さんを把握できていない (介護スタッフと関わる機会がない) ・各地域の情報の収集が出来ていない (ミニサロンなどの地域資源) ・事業所が直接接していない時間帯の事は把握できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・さくら草の全介護スタッフが少なくとも年1回はあじさいクラブに参加し、地域の活動に触れる機会を作る。 ・松友会で行っている、のんびりハウス (地域交流スペース) を見学する機会を作り、地域に向けた活動を理解する機会を作る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 11月 18日 (月)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	柿澤、林、秋山、市来、服部、室井

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	5	7	1	14

前回の改善計画	小規模多機能型居宅介護のサービスは、ニーズに合わせて提供できているが、他のサービスの利用、地域資源やインフォーマルなサービスの把握が出来ていない為、管理者やケアマネから地域資源情報の研修会を行い、スタッフの知識習得をはかる。
前回の改善計画に対する取り組み結果	全スタッフに向けての研修を実施するまでには至らなかった。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	6	5	0	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	10	5	0	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	8	6	0	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	9	5	0	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご利用者のニーズに合わせた柔軟な支援ができている (臨時の通い、宿泊などの対応) ・ご家族、ご本人の生活環境を考慮し、個々に合わせた支援・サービスを提供できている。 ・日常業務中に気が付いたご利用者の変化、要望については他の職員にフィードバックするようにしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・会議や研修、地域資源について学ぶ機会が減少している。 (新型コロナ感染防止の観点から大勢の職員が集まるとの勉強機会が減少している) ・地域資源について学べていない、地域資源の利用も出来ていない。 ・地域資源やインフォーマルサービスが把握しきれていないためご利用者に活用できていない。 ・地域資源やインフォーマルサービスに参加する機会がない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
実際にさくら草のご利用者が利用してるが令和6年 11月 18日 (月)、公的サービス (フォーマルサービス) なのか、 非公的サービス (インフォーマルサービス) なのか、介護スタッフが理解できていないことが多い。 基礎知識を習得するための研修を実施していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 11月 18日 (月)
6. 連携・協働	メンバー	柿澤、林、秋山、市来、服部、室井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	回答なし	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	6	4	2	0	14

前回の改善計画	・サービス事業所とは、対面のサービス担当者会議を実施することで、顔の見える関係を維持し情報共有を密にしていく。 ・運営推進会議や地域ケア会議を通し、地域のイベントなどの情報収取を行い、参加していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	自治会の防災訓練や、掃除などの活動に介護職員が少しずつ参加できるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	4	7	1	1	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	5	5	2	2	14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	6	2	4	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	4	6	2	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・管理者・ケアマネが必要な会議に参加している。 ・訪問看護や福祉用具などの他のサービス機関との連携はできていると思う。 ・自治会の防災訓練に参加。 ・地域ケア会議などには管理者が参加している。会議等でその都度報告がある。 ・移動販売やボランティアによる慰問活動など。	

できていない点	
・他事業所や地域との交流、イベント参加が出来ていない ・地域との交流は持っていない ・地域のイベント情報なども把握しきれていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
あじさいクラブなどへの介護スタッフの参加により、地域活動、地域資源の内容や参加している方たちとの交流を図りながら理解を深めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 11月 18日 (月)
7. 運営	メンバー	柿澤、林、秋山、市来、服部、室井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0	4	9	0	14

前回の改善計画	地域資源や地域活動、ボランティアの活動などを実際にさくら草のスタッフが体験をし、さくら草が事業所として地域の中で何ができるかを検討していく（介護事業所としてのサービス提供だけではなく、地域の中でどのような役割を担うことが出来るかを検討していく）
前回の改善計画に対する取組み結果	さくら草として行える地域活動を検討してしたが、実行には至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	2	6	6	0	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	9	1	0	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	10	1	0	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1	3	10	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・事業所での活動や起こった事故についても介護の場で報告している。 ・ご利用者からの苦情に関しては情報共有しその都度対応できている。 ・ご利用者・ご家族からの意見、地域の方、介護者からの意見を反映できていると思う。 ・地域からの意見や苦情があるかが分からない。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域での役割を考える事。意見はあっても実際に活動するまでには至っていない。スタッフ間の温度差がある。 ・地域との協働した取り組みはできてない。 ・地域の取り組みを理解できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ご近所の方が、介護や生活で困ったことなどを気軽に相談できるように、さくら草の利用相談に限らず、見学や介護相談を受けられる体制を作り、急な相談者があった場合でも、介護スタッフが対応できるように知識の習得や、介護相談を実施していることの周知を図る（地域、事業所内両方に向けて） ・運営推進会議だされた、地域からの意見をゼンスタッフが回覧できるようににする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	
8. 質を向上するための取組み	メンバー	柿澤、林、秋山、市来、服部、室井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	10	3	1	0	14

前回の改善計画	
まずは管理者を中心に、必要な研修内容を把握（事故防止、身体拘束、虐待防止、感染症対策、災害対策等）し、さくら草の内部研修を実施する。研修内での発言・質問による研修内容の把握の確認や、人事考課面接などを通して確認していく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
内部研修は計画通りに行えたが、外部研修への参加が不十分だった（外部研修の必要性、情報収集の不足）	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	6	5	3	0	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	3	7	0	14
③	地域連絡会に参加していますか	5	5	1	3	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	6	6	1	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・事業所内（さくら草・法人内）での研修は実施できている。 ・スタッフ会議や実際にアクシデントが起こった時等に研修・対策を考える場を設け自己研鑽に努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・外部研修に参加できていない（情報収集不足、参加する必要性の認識不足） ・研修に参加できなかった人への周知が不十分。 ・資格取得の研修に参加できていない。 ・研修内容を確認するだけで、自分からは情報の発信が出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
研修情報の収集を管理者任せにするのではなく、介護スタッフ自身が情報収集する意識をつけていく。 法人の別事業所での現場体験の機会を作り、さくら草では体験することが難しい重度者への介護や介助方法を勉強する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 11月 18日（月）
9. 人権・プライバシー	メンバー	柿澤、林、秋山、市来、服部、室井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	6	7	2	0	14

前回の改善計画	ご利用者の権利擁護に関する基本的な知識習得のため、個人情報保護、虐待、成年後見制度、プライバシー保護について、法人全体で研修内容を検討し実施する。研修内容の検討にはスタッフの参加や意見を取り入れて行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	内部研修は計画通りに実施することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	13	1	0	0	14
②	虐待は行われていない	13	1	0	0	14
③	プライバシーが守られている	7	7	0	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	5	4	2	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	11	3	0	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・法人全体で委員会・研修があり、参加することで知識や理解を深めることができている。 ・スタッフ会議にて、プライバシーについて意見交換し、意識の継続を図ることが出来ている。 ・虐待、身体拘束は行っていない。プライバシーを守っている。 ・個人情報の管理はしっかりできている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見制度を使っている人がいるかわからない。経験したことがない。 ・全スタッフが研修に参加しているわけではない。 ・プライバシーにおける意識・配慮の欠如（スタッフの話声が大き）	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
外部講師や外部研修の情報収集を行い、実際に参加したスタッフが研修方向書を作成して、参加できていないスタッフにフィードバックできる体制を作る。 （研修報告書の作成、他のスタッフへのプレゼンテーションが行える技術の習得。）	